

気候変動に関する基礎資料

データは全て、2023年1月31日現在のものを使用。



……世界における観測データ

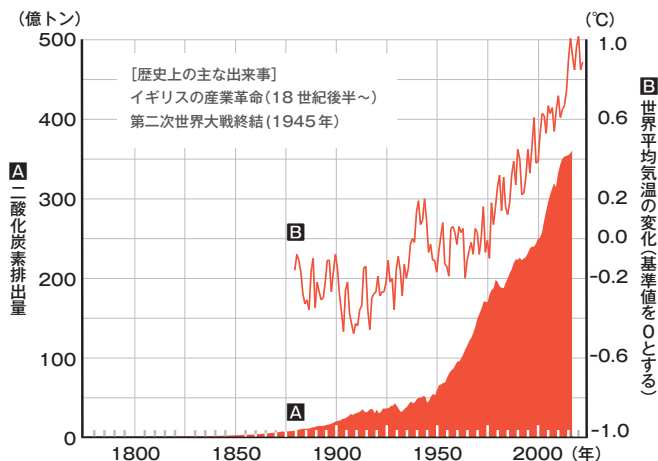


……日本における観測データ

地球温暖化の原因と現状

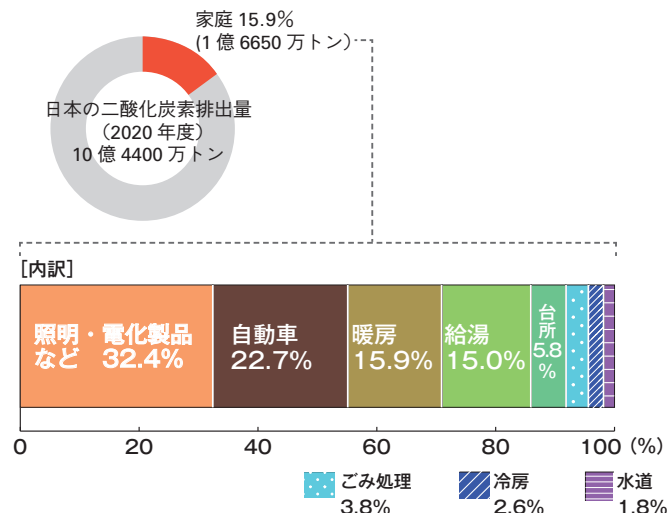
[二酸化炭素排出量と世界平均気温の変化]

Aは、二酸化炭素情報解析センターのデータを基に作成。**B**は、ゴダード宇宙科学研究所の地表温度解析データを基に作成。1951年から1980年までの平均気温を基準値として、そこからの差を示す。



[家庭からの二酸化炭素排出量とその内訳]

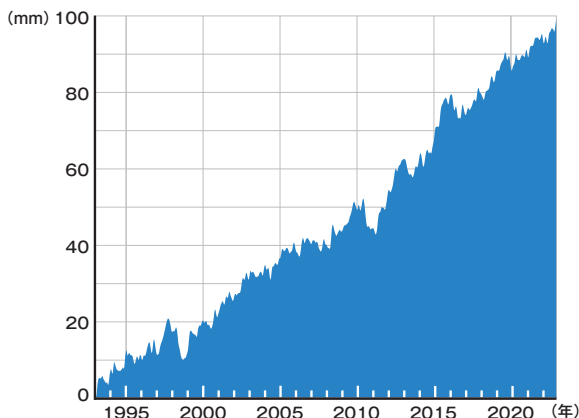
国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィスのデータを基に作成。



地球温暖化による影響

[海面水位の変化]

1993年を基準とした、世界の平均海面水位の変化。NASAゴダード宇宙飛行センターのデータを基に作成。



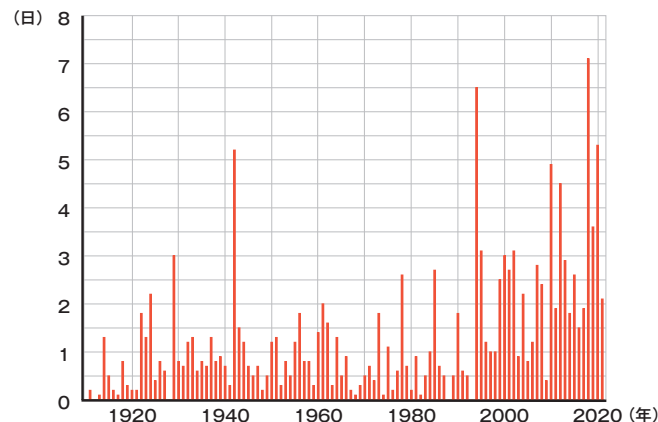
〔出典〕

(上段左) <https://data.giss.nasa.gov/gistemp/>. Lenssen, N., G. Schmidt, J. Hansen, M. Menne, A. Persin, R. Ruedy, and D. Zyss, 2019: Improvements in the GISTEMP uncertainty model. J. Geophys. Res. Atmos., 124, no. 12, 6307-6326. doi:10.1029/2018JD029522. Gilfillan D.; Marland G.; Boden T.; Andres R (2020): Global, Regional, and National Fossil-Fuel CO2 Emissions: 1751-2017. CDIAC-FF, Research Institute for Environment, Energy, and Economics, Appalachian State University, ESS-DIVE repository. Dataset. doi:10.15485/1712447 accessed via <https://data.ess-dive.lbl.gov/datasets/doi/10.15485/1712447> on 2023-04-06.

(下段左) GSFC. 2021. Global Mean Sea Level Trend from Integrated Multi-Mission Ocean Altimeters TOPEX/Poseidon, Jason-1, OSTM/Jason-2, and Jason-3 Version 5.1. Ver. 5.1 PO.DAAC, CA, USA, <https://doi.org/10.5067/GMSLM-TJ151>. Dataset accessed at <https://doi.org/10.5067/GMSLM-TJ151>.

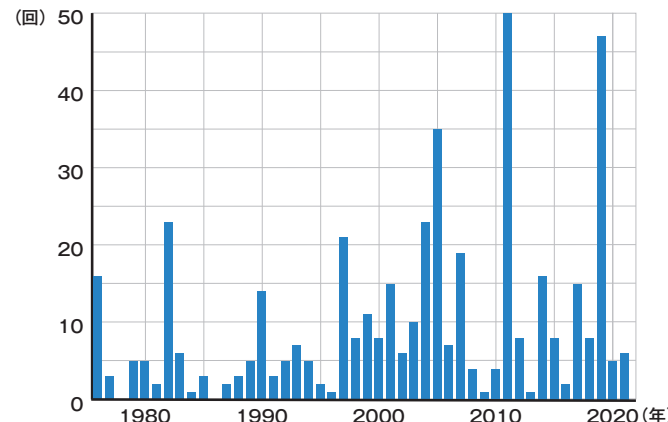
[猛暑日(最高気温が35度以上の日)の年間日数]

全国の観測点13地点における平均日数。気象庁「全国(13地点平均)の猛暑日の年間日数」を基に作成。



[降水量400mm以上(1日当たり)の年間発生回数]

全国1300地点当たりの延べ発生回数。気象庁「[全国アメダス]日降水量400mm以上の年間日数」を基に作成。



〔注意事項(気象庁ウェブサイトより https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html)〕
アメダスの観測期間は約50年程度と比較的に短いことから、地球温暖化との関連性をより確実に評価するためには今後のさらなるデータの蓄積が必要です。